



「修了式」・・・「節目」を生かす！

年度末、そして、修了の時期となり、この一年間を通して、心身ともにたくましく成長した、「葦高っ子」の姿が数多く見られることは、子どもたち自身の努力と保護者・地域の皆様のご支援、ご協力のおかげであると思います。心より感謝申し上げます。

さて、3月から4月にかけてのこの時期は、今の学年から次の学年に進級する学校生活の大きな節目です。この節目を大切に過ごすことが子どもたちの成長にとってとても大事になります。

日本を代表する「竹」は、雪の重みにも強い雨風にも耐え、他の木々にはない、たくさんの節目をもって空に向かって真っすぐに成長します。わずかな風を竹全体で受け止めるしなやかさと共に、何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもっています。そのたくましさの秘密は、軽さと強さを併せ持つ規則正しい間隔の節目であると言われています。ですから、同じ太さの木だと折れてしまうような強い風や重さにも、竹は耐えることができます。昔から、長く丈夫な竹は、釣り竿や物干し竿、かごやざるの材料になる等、いろいろな道具に使われてきました。

子どもたちも今、竹のようにグングン成長しています。そんな子どもたちにとって、この竹の節を育てていくのが、学校の節目である3月から4月のこの時期です。自分の一年間を振り返り、伸びたところ、できるようになったことを考え、自分の成長を確かめる時です。そして、次の目標、進級した学年での「めあて」を立てて、頑張っていこうという気持ちになることで、しっかりとした節ができ、4月からの新しい生活が充実したものとなります。

春休みは、2週間ほどの短い休みですが、今の学年の学習や生活を振り返り、その内容を確実に身につけておく大切な期間になります。ご家庭でも有意義な春休みになるよう声かけをお願いいたします。

校長 藤井 朗



4年生「そうじの徹底」

なかよし学級
「なかよし交流会」



3年生「総合的な学習」



前向きに努力を重ねた
今年度の「学校生活」



5年生「フラッシュモブ」



1年生「ささりんピック」



2年生「かけ算九九大会」